



福井県 留学生 だより 2018

福井県留学生交流推進協議会

CONTENTS

巻頭言 1

「国際交流の勧め ―人と人との出会いと結びつきが国と国を繋ぐ―」

福井県留学生交流推進協議会会長 福井大学長 眞弓光文

留学生の声 2

「初心忘るべからず」 福井県立大学 VO THI THANH THAO（ベトナム）

「福井、私の第二の故郷」 福井大学 MA KEYU（中国）

交流活動 4

独立行政法人国際協力機構北陸センター

インターナショナルさかい（ISA）

活動スナップ

地域交流状況

寄稿 9

「福井高専における国際交流」

独立行政法人国立高等専門学校機構

福井工業高等専門学校 環境都市工学科 教授

国際交流室長 吉田 雅穂

福井県留学生交流推進協議会 10

福井県留学生交流推進協議会の活動

福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

留学生関係資料 12

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

国際交流の勧め

一人と人との出会いと結びつきが国と国を繋ぐー

福井県留学生交流推進協議会会長 福井大学長 眞弓光文



古くは遣隋使、遣唐使から始まり、特に明治以降には、多くの日本人が当時の世界の先進国に留学した。彼らは現地で先端の学問を修め、その成果を日本に持ち帰って、日本の文化や科学の発展に多大な貢献をした。ここ福井からも日下部太郎というひとりの若者が、慶応3年に福井藩最初の海外留学生として藩の期待を背負い、米国ニュージャージー州ニューブランズウィック市のラトガース大学に留学した。太郎は勉学に励み、言葉のハンディをものともせずクラスで一番の成績を収め、ラトガース大学関係者の賞賛と尊敬を集めたが、卒業を目前にして健康を害し、無念にも当地で没した。大学で太郎にラテン語を教えたウィリアム・エリオット・グリフィスは、太郎の優秀さ、勤勉さに感動すると共に、太郎を育んだ福井に関心を抱き、後に福井藩の招きに応じて来福し、藩校明新館で教鞭を執った。このふたりの出会いと結びつきが、今日の福井市とニューブランズウィック市の姉妹都市交流、福井の大学とラトガース大学との学術交流の礎となった。現在では、日下部・グリフィス学術・文化交流基金の援助もあって、福井の大学生がラトガース大学に留学している。私も去る4月にラトガース大学とニューブランズウィック市を訪問し、墓地に日下部太郎の墓碑が設置されるなど、今なお太郎の記憶を大切に受け継いでくれていることを知って、感銘を受けた。

国と国が理解し合い、共生していくことの重要性を語るのはたやすいが、実現させるのはなかなか難しい。国の指導者が国と国の友好関係や共生の重要性をいくら力説しても、両国の国民の間に互いの理解と信頼がなければ、実現は難しい。その理解と信頼のもとになるのが、異なる国の人と人が出会い、交流する、国際交流である。交流することで人と人の間に相互理解に基づく信頼が生まれ、それが集まれば自然と国と国の信頼に繋がる。この点からも、少しでも多くの福井の学生が外国に留学し、その国の人と交流して、相互理解と信頼関係の醸成に努めて欲しい。また、福井の大学には毎年約350名の外国人留学生在が学んでいるが、もっと多くの留学生を迎え入れ、彼らに日本を理解し、日本の友人を得て欲しいと願う。

私事で恐縮だが、私は40年近く前に、米国の深南部、

アラバマ州バーミングハム市にあるアラバマ大学癌センターに留学し、研究生生活を送った。黒人差別に抵抗して故キング牧師達が公民権運動を展開した街として知られ、その時なお黒人差別の残っているその地で私は家族と共に2年間を過ごし、アメリカという国とアメリカ人と接し、多くの生涯の友を得た。最近、他人に親切に対応することを「おもてなし」と節をつけて、まるで日本人だけに見られる素晴らしい行動であるかのごとくに聞こえる言い方があるが、英語にhospitalityという単語があるように、決してそうではない。私は留学するまで知らなかったが、アメリカ南部人の「Southern hospitality」と称される親切さは日本人の「おもてなし」に勝るとも劣らない。人種差別と他人への親切、この相反するが如きものが自然と同居する社会。外国やその国の人を一面だけで捉えることの愚かさを痛感した留学であった。

外国やその国の人を知る一番の方法は、言うまでもなく、その国で生活することである。その国で暮らすことにより、海外旅行では知り得ないことを知ることができる。そうは言っても、誰もが外国で暮らせるわけではないし、生涯に複数の外国で暮らすことはもっと難しい。しかし、学生諸君には留学という手段がある。福井大学からは毎年約250名の学生が短期のものを含め海外留学しており、これからもこの活動をさらに活発にして欲しい。また、海外留学は出来なくても、大学にいる大勢の外国人留学生と交流することで互いの理解を深めることが出来るであろう。さらに、福井県には1万3千人を超えるブラジル、中国、韓国、ベトナム、フィリピンなどからの人が住んでおり、その数は年々増加している。彼らとの交流を通して、それぞれの国やその国の人々の一端を理解することが出来るだろう。

福井の学生の海外留学、海外の学生の福井留学、さらに、地域に住む外国人との交流を、もっと活発にする必要がある。特に若い学生諸君には国際交流活動を積極的に展開して欲しいと願う。私たち福井県留学生交流推進協議会は、留学生の交流はもとより、地域の国際交流の一層の推進のために活動する所存である。

初心忘るべからず

福井県立大学 経済学部経営学科 2年

ヴォーティンタオ (ベトナム)



来日してから今年で4年目になった。長かったような短かったようなその時間を振り返ってみると、自分自身が徐々に成長してきたと感じる。

地元のホーチミン市からハノイまでの範囲では、言葉も生活習慣も同じで、一人で生活しても、不自由を感じていなかった。しかし、国境を越え、日本で一人暮らしをすると、まるで別の世界に足を踏み込んだようだった。特に、福井県に越してきたばかりのころ、どこを歩いていても、緊張し、不安だった。新しい人間関係を作るのにどれほどの時間がかかってしまったのだろうか。新たな生活に合わせるため、自分のリズムもどこまで頑張ってきたのだろうか。慌ただしい毎日を過ごす中、身体と心がかたも疲れていた。

島根県で日本語学校に所属していた時、経済的に困難だったり、日本での生活には慣れていなかったりした思い出があった。そして言葉が不自由でプレッシャーが大きかった。一生懸命頑張っていたのに、学校・アルバイト・日常生活、なんでも中途半端に終わってしまった。大学へ進学したことで、生活が少し楽になるだろうと勝手に期待してしまった。しかし、私の考えが甘かったのか、運気が悪かったのか、すべての予想が外れてしまった。帰宅する途中に、一人で泣きながら、自転車を走らせた日々は今でも鮮明に覚えている。

大学1年生の時、学校に慣れておらず、友達もいなかった。毎日30分ほどの自転車通学で、家に帰ったら、本当に疲れ果てた。それでも、アルバイトがあるため、急がなければならない。結局、夜中に帰って、適当に晩御飯を済ませた。30日のうちの20日、カップラーメンを食べることもよくあった。勉強はアルバイトの休憩の時間や、夜の遅い時間にした。実家にいた時は、洗濯や掃除などは母が当たり前のようにやってくれ、家に着いたら母の手料理が待っていた。さらに学費、生活費のことを考えなくても済み、お小遣いまでもらえた。しかし、日本での一人暮らしでは、当然一人で全部行わなければならない。母と電話をする時、「大丈夫だよ」と涼しい顔で言うのが精一杯だった。そんな学校とアルバイトの繰り返しで毎日が嫌になってしまった。いろいろなことが願望から義務になり、生活は相変わらず大変だった。そして「こんなこともできない自分」と考え始めた。日本は私に対して優しくないという気持ちを胸に抱えていた。

日本語学校を卒業した後も、ときどき担任の先生と手紙で連絡していた。そのやり取りから、私はいろいろと思い出した。最初の授業で、先生が大きく「初心忘るべからず」とホワイトボードに書いていた。その言葉が何年もずっと私の背中を押してくれた。私はこういう不器用な自分に負けたくない。感情を抑えつけ、痛みを感じていることを隠そうとしない。何が私を傷つけているのかを認め、生活も思考もちゃんと整えていきたい。

私は勉強のために日本に来たから、勉強に付いていくことができなければどんなにお金を必要としても、アルバイトをやめ

たほうがいいと思う。私はちゃんと勉強の時間を作って、専門科目の勉強以外、中国語、ギターなど好きなことを学んできた。ベトナムでは100点満点を取れなければ、99点を取っても意味がないから、いつも無理をするほど100点を狙った。しかし、日本では80点あるいは100点のどちらでも「優」と同じように評価されるから頑張れる分だけ頑張ればいい。学校の講義を理解することにも精一杯だったが、そのこと自体が勉強だと思った。自分は留学生だけど、日本人の学生と同じように授業を受け、レポートや試験なども一緒だから、特別という存在で区別されたくない。私はいつもそんなふうに考えて、日本人の学生ができることは私にもできると立証したい。しかし、自分にプレッシャーをかけすぎないようにすることも大事な。

自転車で通学するのは大変だけど、毎日ちゃんと学校に行くことができたから、その時はちゃんと自分にご褒美をあげる。そんな考え方が、周りに対する態度や見方を少しずつ、変えていった。一人で生活することは、自由で楽だと思った。悲しいことだけでなく楽しいことを共有できる友達がいれば頼りになることを実感した。積極的に友達を作って、視野を広げる。そんな人が近くにずっといたことに気づいた。ちゃんと喋れる友達がいたら、人生も豊かになった気がした。23歳の誕生日を友達と迎えたこと、困った時にはたくさんの人が手を差し伸べてくれたこと、ご飯を作ってくれたこと、一緒に旅行に行ったことなど感謝したい人がだんだん増えていく。また自炊、掃除、洗濯などもちゃんと新しい気分でやっておいて、病気になった時はちゃんと病院に行って、薬を飲む。今の私は何でも一人でできるようになった。たった一つの世界のはずだが、見る角度さえ変えればこれからの未来が輝いていくのと思う。

この3年間の出来事がどんなに辛くても苦しくても、同じく良いことがやってくる。右も左も分からなかった私をここまで成長させてくれたのは間違いなくかけがえのない日本での体験だった。無駄なことは一つもなかった。以前の私はいつも自分が悩んでいることや失敗を誤魔化し、隠そうとしていた。しかし、困った時間は今の自分になるためのエピソードで自分の中に特別な価値が生まれてきた。私の口癖は「ちゃんと形にしたい」という言葉である。私が経験してきた時間もちゃんと形に残していきたいと思う。



福井、私の第二の故郷

福井大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻 1 年

馬 珂鈺 MA KEYU (中国)



中国、江蘇省出身の馬 珂鈺（マ・クーユー）と申します。福井大学大学院教育学研究科に在籍しております。

2016 年 3 月、大学 3 年生の時に、日本語のスキルをより向上させたいと思い、短期の交換留学生として、初めて中国から福井にやってきました。実は福井に来る以前から、福井大学で勉強している先輩に、色々なことを教えてもらっていたため、福井に初上陸した時、不安は全くありませんでした。それから半年の期間、教育学部で声楽の授業に参加し、合唱の魅力を感じるようになりました。さらに私は 6 歳の頃から中国でヴァイオリンを教わっていたので、福井大学フィルハーモニー管弦楽団にも積極的に加入させていただきました。最初は日本語も上手く喋れず、音楽の専門用語もほとんど分からなかったのが、気軽に喋りかけることも出来ませんでした。しかし音楽に国境はありません。一つの言語として、音楽は文化や習慣の大きな違いを小さくすることができます。周りのみんなのおかげで、いろいろなことが徐々にわかるようになりました。福井大学フィルハーモニー管弦楽団に参加したことは私にとって、一生忘れられない経験になりました。

また、福井大学の先生や学生も非常に熱心で優しく、様々な場面で私を助けてくれました。そのため中国の江南大学を卒業して、福井大学で音楽についてさらに勉強したいと思い、教育学部の研究生として昨年 10 月に、2 回目となる福井にやってきました。半年ほど音楽についての勉強をしてから、今年の 4 月に教育学研究科の大学院生になり、充実した生活が始まりました。この手に入れた素晴らしい機会を最大限に活かすため、たくさんの知識と能力を身に付けたいと思い、私は音楽科の大学院の授業を全部受けました。その中でも、ピアノ、作曲と声楽の授業はほぼ初心者にとって難しいけれども、先生たちが、いつも親切に教えてくださるため、一つ一つの困難を乗り越えることができました。そして今年の 9 月の作曲発表会で、人生で初めて作曲したピアノのための「PARADOX」という曲を発表しました。作曲は私が好きな分野なので、曲を作る過程は辛くても、曲が完成してからの嬉しさはかけがえのないものです。今は、中国の現代音楽の作曲家譚盾の作品について研究しているので、自分の力で日本の方に中国の音

楽を紹介したいと思います。

去年から今までの 1 年間で、音楽の勉強のみならず、留学生交流活動やボランティア活動にも参加しました。中国の新年の時に日本の大学が休みではなくて、中国に帰ることができないので、2018 年 2 月の日中友好交流会（春節の集い）で司会進行役と懇親会の楽器演奏を行い、私に温もりを感じさせました。2018 年 1 月の福井大学留学生との交歓会で中国の留学生の代表としてエレキバイオリンで演奏しました。また、今年の 10 月から、初めて留学生チューターを担当しています。後輩たちと交流した過程で、2 年前に私が初めて福井に来た時のことを思い出しました。これらの活動を通じ、コミュニケーション能力と強い適応能力を身に付けただけではなく、日本の社会、文化、地域について色々勉強になりました。さらに、ほかの国からの留学生と友達になり、自分の世界観も広がりました。

私の故郷は都会なので、これまででは、にぎやかな街に住むことが多かったです。それに対して、福井は自然が豊かで静かなところなので、落ち着いて仕事や生活ができる環境だと思い、私の第二の故郷のような福井で働きたいと思っています。私は音楽とグルメが大好きなので、将来は福井で自分のミュージカル・レストランを営みたいです。自分の夢を実現する為に、勉強しなければならないことはまだ多いので、日本留学を終えた後、日本で音楽の関係の仕事をして、知識も経験も積んでから、一步一步を実現したいです。



独立行政法人国際協力機構北陸センター

JICA 北陸は、北陸 3 県の「国際協力に関する相談窓口」として、国内外でできる国際協力活動や途上国開発のための民間連携についてご相談にお応えしています。福井県にも JICA デスクがあり、みなさまの身近な国際協力のサポート役として、さまざまな疑問・質問・相談に応じながら、地域の国際協力に取り組んでいます。

● 研修員受入事業

JICA 北陸では、開発途上国から年間約 250 名の研修員を受け入れています。研修員は、メキシコやミャンマーなどの国をはじめ、アジア、中東、中南米、アフリカなどのさまざまな地域から来日しています。



長期研修（※ ABE2017 年度・第 4 バッチ）の研修員であるザワディ アタナス マチャさん（タンザニア出身）は福井大学大学院工学研究科電気・電子工学専攻で日々研究に励まれており、将来はエンジニアとしてタンザニアの電力の普及拡大に貢献されたいとのこと。また、福井県内の学校における文化紹介の授業やイベントにも積極的に参加されています。マチャさんにとって子どもたちとの交流は、日本文化にも触れられる大変貴重な機会になっているようです。

※ ABE（アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ）とは…African Business Education Initiative for Youth の略語で、5 年間で 1000 人のアフリカの若者に対し、日本の大学や大学院での教育に加え、日本企業でのインターンシップの機会を提供するもの。

● 草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は NGO、大学、地方自治体、公益法人などがこれまで培ってきた経験や技術を生かした、途上国の人々の生活に直接役立つ協力活動を JICA が支援する事業です。バングラデシュ人民共和国では、福井大学地域環境研究教育センターが、「パイガサ地域の水・保健環境改善プロジェクト」を実施中です。バングラデシュでは、井戸水（地下水）の砒素汚染や海水侵入に伴う塩性化、表留水の細菌汚染が深刻であり、特に乾季の飲料水確保が困難となっています。本プ



ロジェクトでは、パイガサ地域において入手可能な材料で、住民が簡単に作製できる「太陽熱淡水化装置（TrSS）」を開発し管理する技術支援、保健衛生教育を 2 本柱に、水・保健環境の改善モデルの確立を目指しています。

● JICA ボランティア事業

JICA ではこれまで開発途上国に 5 万人以上の JICA 海外協力隊を派遣し、福井県からは 300 名以上がアジア・中南米・アフリカ・大洋州等で活動してきました。福井デスクでは、JICA 海外協力隊経験者を講師に招き、派遣国の文化や現地での活動を紹介するイベントや座談会、パネル展等を実施しています。今年度 W 杯の日本対セネガル戦当日には、セネガル国民が愛する「チェブ・ジェン（米と魚の炊き込みご飯）」の調理体験を実施し、対戦相手国の文化や魅力を五感で感じていただくひとときとなりました。



● 開発教育支援事業

国際協力出前講座では、開発途上国の現場で国際協力に関わった経験のある JICA 海外協力隊経験者や



JICA 職員を、講師として学校や地域の学習会などに派遣しています。現場で活躍した人材だからこそその貴重な活動体験や開発途上国の実情について、聞いて学べる人気のプログラムとなっています。

JICA 北陸の事業、イベント情報について、詳しくはこちらをご覧ください！

HP <https://www.jica.go.jp/hokuriku/>

Facebook <https://www.facebook.com.jicahokuriku>

さかいからせかいへ インターナショナルさかい(ISA)



事務局 Tel : 090-2034-5761 E-mail : 751961hirata@ezweb.ne.jp

私たちは、世界の人々と市民とのさまざまな幅広い交流活動を通して、国際性豊かな人材の育成を図ると共に、相互理解と友好親善・国際協力を推進し、多文化共生社会の実現と世界平和の促進に寄与することを目指しています。

国際交流事業（在住外国人と市民の交流促進）

★ 国際料理教室

世界と日本の家庭料理教室を開き、相互の食文化の理解と交流の促進を図っています。



★ 丸岡古城まつり出店参加

地域の伝統的な行事に参加して外国人会員による出身国の料理を調理販売し、売上金の一部は共同募金や海外助け合い募金に寄付しています。

● 国際グラウンドゴルフ大会とBBQ パーティ

外国人の初心者でも気軽に楽しめる日本のスポーツの体験大会とBBQパーティを開催しています。

国際理解事業（異文化理解とチャリティ推進）

● チャリティ・世界の文化紹介講座

在住外国人による自国の文化紹介をチャリティ事業として行ない、歳末助け合い運動に協力し義援金を寄付しています。



★ 国際交流のつどい

世界の文化紹介講座と日本文化の体験教室を同時開催し、外国人と日本人の異文化体験交流による相互理解と友好親善を図っています。日本文化では、着物・書道・三味線・茶会・料理などを体験してもらいます。



★ 外国人による日本語弁論大会

外国人の目から見た日本、居住地域等について、日本語で話してもらい、相互理解と地域の再発見を通して住み良いまちづくりの推進を図っています。



● 福井国際フェスティバル出展参加

福井国際フェスティバルに参加して、当会の活動紹介と世界に関するクイズ大会を行ない、国際理解と交流の輪を広げています。



外国人支援事業（外国人への支援活動）

● 日本語教室

日本語習得を必要とする在住外国人への個人授業による指導を行なっています。また、ボランティア指導者の養成講座を開催しています。

● 外国人のための無料相談会

福井県行政書士会との協働事業として、在留資格、ビザの更新、国際結婚、帰化等について無料相談会を開催しています。

★ 通訳ガイドボランティア

市内の名所旧跡や穴場の観光スポットを外国人観光客に紹介するため、留学生のご協力も得ながら、通訳ガイドと観光資料作成のボランティア活動を実施しています。



● 定期実施 ★ 不定期実施



Christmas Party (福井大学)



リレーマラソン (ふくい市民国際交流協会)



Farewell party (福井県立大学)



Ski Tour (福井大学)



お茶会 (福井県立大学)



災害時外国人支援サポーター養成講座
(福井県国際交流協会)



Halloween Party (福井大学)



陶芸教室 (福井県立大学)



万灯夜 (ふくい市民国際交流協会)



English cafe (福井県国際交流協会)



防災研修会 (ふくい市民国際交流協会)



災害時外国人支援サポーター養成講座
(福井県国際交流協会)



七夕 (福井大学)



大学祭 (福井工業大学)



大学祭 (福井大学)

地域交流状況 留学生と地域との交流状況（平成 29 年 10 月～ 30 年 9 月）

事業名	主催者等	開催期間
日本語常設講座（初級 1 と会話、初級 2 と会話、日本語能力試験（N2）（N3））	公益財団法人 福井県国際交流協会	通年
しゃべり場	公益社団法人 ふくい市民国際交流協会	通年
平成 29 年度北陸地区高専間の外国人留学生交流会 （大本山永平寺拝観・福井県立恐竜博物館見学・『ゆめおーれ勝山』コースター制作体験他）	福井工業高等専門学校	9 月 30 日～ 10 月 1 日
福井工業大学 大学祭での模擬店出店	福井工業大学	10 月 7 日～ 8 日
英語カフェ（AOSSA・F スクエア）	福井県大学連携センターF スクエア	10 月 7 日
留学生との東尋坊 1 日旅行	日中友好協会福井支部	10 月 8 日
Welcome Party	福井大学語学センター	10 月 13 日
福井国際フェスティバル 2017	公益財団法人 福井県国際交流協会	10 月 15 日
国際交流 REINAN のつどい 2017	公益財団法人 福井県国際交流協会	10 月 29 日
留学生との恐竜博物館見学	日中友好協会福井支部	11 月 19 日
子供英語教室学習発表会	ECCジュニア王子保教室	11 月 19 日
第 23 回おらが村でも国際交流	永平寺町吉野公民館	11 月 23 日
外国人留学生のための県内製造業研究会	公益財団法人 福井県国際交流協会	12 月 10 日
平成 29 年度外国人留学生との懇談会（鯖江市国際交流協会との交流）	福井工業高等専門学校	12 月 13 日
留学生クリスマスパーティー	福井大学留学生会	12 月 19 日
外国人留学生のための県内製造業研究会	公益財団法人 福井県国際交流協会	12 月 22 日
春節祝賀会	日中友好協会福井支部	1 月 28 日
春節の集い	福井市日中友好協会	2 月 4 日
おちゃっとサロン「ブータン」	公益財団法人 福井県国際交流協会	2 月 25 日
おちゃっとサロン「茶道」	公益財団法人 福井県国際交流協会	3 月 11 日
災害時通訳ボランティア研修会	公益社団法人 ふくい市民国際交流協会	3 月 11 日
通訳ボランティア研修会 実践研修	公益社団法人 ふくい市民国際交流協会	3 月 18 日
イングリッシュウォーク	公益社団法人 ふくい市民国際交流協会	4 月 7 日
留学生とのお花見会	日中友好協会福井支部	4 月 8 日
外国人留学生と県内企業の合同企業説明会	福井県、福井銀行、福井商工会議所、福井県国際交流協会	4 月 15 日
おちゃっとサロン「ドイツ」	公益財団法人 福井県国際交流協会	5 月 13 日
福井のこしひかり米づくり「田植え体験」	高須城山・農と人の会、福井大学国際センター	5 月 20 日
第 7 回国際グラウンドゴルフ大会& BBQ パーティ	インターナショナルさかい	6 月 2 日
芝政リレーマラソン	公益社団法人 ふくい市民国際交流協会	6 月 17 日
平成 30 年度北陸地区高専間の外国人留学生交流会（和菓子作り体験、金沢にし茶屋街散策）	石川工業高等専門学校	6 月 23 日
福井市総合防災訓練に参加しよう	公益社団法人 ふくい市民国際交流協会	6 月 24 日
日本文化体験（お茶会）	福井工業高等専門学校	6 月 28 日
留学生のための浴衣の着付け・茶道体験	福井大学国際センター	7 月 7 日
丸岡高校バイリンガル観光ボランティア 浴衣着付け体験	福井県立丸岡高等学校	7 月 12 日
災害時外国人支援サポーター養成講座	福井県国際交流協会、ふくい市民国際交流協会	7 月 14 日
おちゃっとサロン「中国」	公益財団法人 福井県国際交流協会	7 月 22 日
安居中学校文化祭行事向けインタビュー調査	福井市安居中学校	7 月 23 日
丸岡高校バイリンガル観光ボランティア そば打ち体験	福井県立丸岡高等学校	7 月 27 日
留学生体験学習（みささち）	福井工業大学	7 月 28 日
丸岡高校バイリンガル観光ボランティア 丸岡城案内リハーサル	福井県立丸岡高等学校	8 月 10 日
丸岡高校バイリンガル観光ボランティア 丸岡城案内	福井県立丸岡高等学校	8 月 12 日
丸岡古城祭り	丸岡古城祭り実行委員会	8 月 12 日
高校生イベント「See the World Feel the Global」	福井大学語学センター	8 月 18 日
English café	公益財団法人 福井県国際交流協会	8 月 19 日、9 月 2 日
能楽体験ワークショップ・鑑賞会に参加しよう	公益社団法人 ふくい市民国際交流協会	8 月 25 日
万灯夜でボランティアに参加しよう	公益社団法人 ふくい市民国際交流協会	8 月 25 日
福井のこしひかり米づくり「稲刈り体験」	高須城山・農と人の会、福井大学国際センター	9 月 23 日

福井高専における国際交流

独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
国際交流室長 吉田雅穂



海に囲まれた日本は外国を海外、海の外と呼びます。アメリカやユーラシアの大陸のように隣国が陸続きであることと比べると、日本人が国外に行くことは、手段はもちろん、気持ち的にもハードルは高いです。また、日本語という外国では一切使われない言語を話すことも障壁となっています。しかし、ハードルが高い故に、発展した先進国や途上国の未知の世界を見てみたいという強い願望が昔の人にはありました。しかし現代では、インターネットというインフラと、Google Earthのお陰で仮想世界旅行を瞬時に楽しむことができます。

飛行機を降りて入国審査を終え、ターミナルビルを出た時に、今まで経験したことのない、その国の色、音、温度、湿度、においに遭遇します。そこから街へ出ると、さらに、経験したことのない、景色、言葉、習慣、味に出会います。そしてその時、自分が日本人であることを強く意識するようになります。私が初めて海外を旅したのは22歳の時。いわゆる旗を持ったガイドさんに付いていく旅でした。残念ながら記憶がありません。その2年後、インターネットのない時代、飛行機や宿を電話で予約し、地球の歩き方を片手に公共交通機関で移動するアメリカ1人旅をしました。街の風景や落書きだらけの地下鉄での恐怖は今も鮮明です。記憶は自らの自発的な行動によって脳に深く記録されます。

少子高齢化で人口が減少し、資源を海外に頼る日本。持続的で希望に満ち溢れた未来を築くために、我が国のエンジニアに求められていることのひとつが、新たに創出した技術を他国に売り込むことです。その実現には、その国が何を必要としているのか、その国の人や風土がどうなのかを、ビッグデータの収集とともに本物を五感で知ることが重要です。さらにその実行には、世界共通語である「英語力」の修得はもちろんのこと、それを使う「会話力」、それをさらに分かりやすくする「表現力」、異国で生活する「人間力」を身に付ける必要があります。

福井高専から毎年卒業する約200名の学生の中から、将来のグローバルエンジニアを一人でも多く輩出するために、本校では以下に示す学生派遣や受入の事業を行っています。海外に飛び立つ学生はまだまだ少ないですが、国際交流室が各事業の企画運営を担当し、質の高い人材育成を支援しています。

【オーストラリア研修旅行】

2006年にオーストラリアのビクトリア州にある巴拉ット大学（現在はフェデレーション大学に改名）との

姉妹校協定を結びました。その後、2年ごとに本校学生が大学を訪問し、英語を学ぶ本校学生と日本語を学ぶフェデレーション大学の学生が交流を行っています。現地での滞在は約1週間、メルボルン近郊において日中は英語研修と様々なアクティビティ、夜はホームステイをしながら英語力、会話力、表現力、人間力を育成しています。

【海外インターンシップ】

高専卒業後に入学する2年制の専攻科では20日間以上のインターンシップを必修科目としており、来年度からは国内か海外かを選択するカリキュラム改訂を行いました。海外での研修先は大学の研究室や、本校の教育研究活動支援組織である地域連携アカデミアに所属する県内企業の海外工場等です。過去3年間の渡航国はマレーシア、フィリピン、台湾、ドイツであり、計11名が参加しました。

【トビタテ！留学JAPAN】

学内で説明会を開催して応募のきっかけ作りを行っています。2017年度に本科3年生1名が高校生コースに、専攻科1年生1名が地域人材コースに採択され、それぞれアメリカとドイツで研修を行いました。

【留学生の受入】

全国51の国立高専では国費または政府派遣による外国人留学生を3学年次に編入学させており、世界22ヶ国から約450名の留学生が在学しています。本校では現在、マレーシア5名、カンボジア1名、バングラデシュ1名の計7名が日本人学生と一緒に日本語による講義を受け、学生寮で生活しています。卒業後は大学に編入学する学生が多く、将来は母国の技術者としての活躍が期待されています。また、本校や高専機構の交流協定校より短期留学生を受け入れています。今年度はタイのプリンスオブソンクラ大学とキングモンクット工科大学ラートクラバン校より計5名の学生が1～2ヶ月間在学し、学生寮で生活しながら、各学科の学生と一緒に勉学と研究に励みました。様々な理由で海外渡航できない本校学生にとっては、彼らとの交流によって国際経験を間接的に得ています。



2016年度 オーストラリア研修旅行

福井県留学生交流推進協議会の活動

平成 29 年度福井県留学生交流推進協議会定例総会が、会長の眞弓光文福井大学長の代行として中田隆二理事（学生・教育担当）副学長の進行のもと、推進協議会会員の出席を得て、平成 29 年 11 月 30 日（木）、福井大学文京キャンパスアカデミーホール集会室で開催されました。

総会は、会長代行の挨拶の後、会長代行を議長に選出し議事に入りました。主な内容は次のとおりです。

平成 28 年度活動報告

中田会長代行から次のような活動報告及び決算報告が行われました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だより 2016 の発行

平成 30 年度活動計画

中田会長代行から次のような活動計画が提案され、いずれも異議なく承認されました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だよりの発行
6. 各種団体行事等の後援



議事終了後、福井工業大学工学部 2 年オオイコック リオンさん（マレーシア）と福井大学大学院工学研究科博士前期課程 2 年費霄霄（フェイ シャオシャオ）さん（中国）による体験発表が行われました。

福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

平成 30 年 11 月現在

福井県留学生交流推進協議会会員名簿

順不同：敬称略

機関等名	長又は代表者	氏名
法務省名古屋入国管理局福井出張所	所 長	山 口 和 弘
福井県	知 事	西 川 一 誠
福井県教育委員会	教 育 長	東 村 健 治
福井市	市 長	東 村 新 一
福井市教育委員会	教 育 長	吉 川 雄 二
福井県市長会	会 長	東 村 新 一
福井県町村会	会 長	杉 本 博 文
福井商工会議所	会 頭	川 田 達 男
福井経済同友会	代 表 幹 事	江 守 康 昌
福井県経営者協会	会 長	前 田 征 利
(公社) 日本青年会議所北陸信越地区 福井ブロック協議会	会 長	松 田 匡 彦
福井県農業協同組合中央会	会 長	田 波 俊 明
福井県経済団体連合会	会 長	川 田 達 男
公益財団法人 福井県国際交流協会	理 事 長	川 田 達 男
NPO 法人福井県日本中国友好協会	会 長	酒 井 哲 夫
福井日伊英米交流協会	会 長	川 田 達 男
福井県日韓親善協会	会 長	川 田 達 男
(一社) 福井県医師会	会 長	大 中 正 光
福井ロータリークラブ	地 区 ガ バ ナ ー	渡 邊 義 信
ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区	会 長	宇 波 真 一郎
福井県連合婦人会	会 長	田 村 洋 子
福井県連合青年団	団 長	岡 井 里 紗
国際ソロプチミスト福井	会 長	黒 川 眞由美
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	会 長	青 池 浩 生
○ 福井県立大学	学 長	進 士 五十八
福井工業大学	学 長	掛 下 知 行
仁愛大学	学 長	田 代 俊 孝
仁愛女子短期大学	学 長	禿 正 宣
敦賀市立看護大学	学 長	交 野 好 子
福井医療大学	学 長	山 口 明 夫
福井工業高等専門学校	校 長	松 田 理
学校法人大原学園福井校	校 長	赤 星 哲 志
◎ 福井大学	学 長	眞 弓 光 文

◎印：会長 ○印：副会長

福井県留学生交流推進協議会 運営委員会委員名簿

順不同：敬称略

機関等名	官職	氏名
福井県	産業労働部企画幹（国際経済）	山 元 清 隆
福井市	商工労働部観光文化局 おもてなし観光推進室国際室長	高比良 博 則
福井商工会議所	地域事業課長	岡 田 智 絵
公益財団法人福井県国際交流協会	専務理事	伊 藤 恵 造
一般社団法人福井県専修学校 各種学校連合会	事務局長	穴 吹 憲 男
福井県立大学	交流・研究支援部長	坂 井 太
福井工業大学	国際交流課 課長代理	奥 村 光 理
仁愛大学	学生支援センター 次長	出 村 友 寛
仁愛女子短期大学	学生部学生生活課長	山 田 浩 隆
敦賀市立看護大学	教務学生課長	村 上 みち子
福井医療大学	事務課事務室長	岩 永 和 也
福井工業高等専門学校	学生課長	川 端 敏 隆
学校法人大原学園福井校	副校長	小 倉 豪 円
○ 福井大学	理事（教育・学生担当）・副学長	中 田 隆 二
	国際センター教授	虎 尾 憲 史
	学務部長	岡 田 正 史

○印：委員長

任期：平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日

福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況等

平成 30 年 10 月 1 日現在

1. 経費別留学生数

区分	機関名	福井大学	福井県立大学	福井工業大学	仁愛大学	仁愛女子短期大学	敦賀市立看護大学	福井医療短期大学	福井工業高等専門学校	大原テクノデザインアート専門学校	福井ベット&旅行ホテル専門学校	大原簿記法律専門学校福井校	大原スポーツ医療保育福祉専門学校	合計
国費		20							2					22
外国政府派遣	マレーシア政府派遣	36							5					41
	その他政府派遣	10												10
	国際協力機構 (JICA)	1												1
	私費	167	29	107							1	1	7	312
	内 (交換留学生)	(102)	(14)											(116)
	合計	234	29	107	0	0	0	0	7	0	1	1	7	386

2. 国別留学生数

国名	機関名	福井大学	福井県立大学	福井工業大学	仁愛大学	仁愛女子短期大学	敦賀市立看護大学	福井医療短期大学	福井工業高等専門学校	大原テクノデザインアート専門学校	福井ベット&旅行ホテル専門学校	大原簿記法律専門学校福井校	大原スポーツ医療保育福祉専門学校	合計
インド		1 (1)												1 (1)
ネパール				1 (0)										1 (0)
バングラデシュ		4 (0)		1 (0)					1 (0)					6 (0)
ミャンマー		3 (2)		3 (2)										6 (4)
タイ		7 (4)		9 (3)										16 (7)
マレーシア		38 (18)		8 (0)					5 (1)					51 (19)
インドネシア		15 (7)												15 (7)
フィリピン		2 (2)												2 (2)
韓国		9 (2)	2 (1)											11 (3)
モンゴル		1 (0)		3 (0)										4 (0)
ベトナム		10 (5)	13 (8)	39 (10)								1 (1)	3 (3)	66 (27)
中国		100 (49)	9 (6)	42 (10)							1 (0)		4 (2)	156 (67)
中国 (マカオ)		2 (2)												2 (2)
カンボジア		7 (1)							1 (0)					8 (1)
ブータン		1 (0)												1 (0)
台湾		23 (19)	5 (5)											28 (24)
タンザニア		1 (1)												1 (1)
アメリカ合衆国		1 (0)												1 (0)
メキシコ		1 (0)												1 (0)
グアテマラ		1 (1)												1 (1)
フランス		1 (0)												1 (0)
イタリア		1 (1)												1 (1)
ドイツ		2 (1)												2 (1)
リトアニア		2 (2)												2 (2)
ウズベキスタン		1 (0)		1 (0)										2 (0)
合計		234 (118)	29 (20)	107 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	7 (5)	386 (170)

() 内の数は、女子で内数

3. 住居形態別留学生数

機関名 区分	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井医療 短期大学	福井 工業高等 専門学校	大原テクノ デザインアート 専門学校	福井ベット& 旅行ホテル 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	合計
大学留学生会館等	32 (16)												32 (16)
学生寮	56 (32)		4 (0)					7 (1)					67 (33)
大学等借上宿舍		14 (12)											14 (12)
公営住宅	2 (0)												2 (0)
民間企業の留学生寮												6 (4)	6 (4)
アパート・マンション	142 (70)	15 (8)	98 (25)							1 (0)		1 (1)	257 (104)
借家			5 (0)										5 (0)
下宿	2 (0)												2 (0)
その他											1 (1)		1 (1)
合計	234 (118)	29 (20)	107 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	7 (5)	386 (170)

() 内の数は、女子で内数

4. 国別・経費別・在籍別留学生数

国名	区分	国費留学生					外国政府派遣留学生				私費留学生						JICA	合計
		学部	修士	博士	研究生	科目等履修生	学部	修士	博士	研究生	学部	修士	博士	研究生	科目等履修生	専門課程	修士	
インド					1													1
ネパール											1							1
バングラデシュ	1			4							1							6
ミャンマー			2								3	1						6
タイ					1						6	3	1		5			16
マレーシア							40	1			9				1			51
インドネシア					1	1		6	3						4			15
フィリピン				1											1			2
韓国											3				8			11
モンゴル									1		2	1						4
ベトナム											48	3	1		10	4		66
中国											50	29	11	19	42	5		156
中国（マカオ）															2			2
カンボジア	5				2						1							8
ブータン				1														1
台湾													1		27			28
タンザニア																	1	1
アメリカ合衆国															1			1
メキシコ															1			1
グアテマラ					1													1
フランス													1					1
イタリア															1			1
ドイツ															2			2
リトアニア															2			2
ウズベキスタン	1										1							2
合計		7	2	5	7	1	40	7	4	0	125	37	15	19	107	9	1	386
		22					51				312						1	

5. 外国人留学生の奨学金受給状況（平成 30 年度）

奨学金等名称	国名	ミャンマー	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	韓国	ベトナム	中国	中国（マカオ）	カンボジア	台湾	メキシコ	ドイツ	合計
（独）日本学生支援機構 文部科学省私費外国人留学生学習奨励費								2	11						13
（公財）ロータリー米山記念奨学会 ロータリー米山記念奨学金				1				2	4						7
（公財）江守アジア留学生育英会 外国人私費留学生奨学金	1		1					4	8						14
（公財）三谷育英会 外国人留学生奨学金			1						1		1				3
（公財）日揮・実吉奨学会									1						1
（公財）藤井国際奨学財団									1						1
（公財）ヒロセ国際奨学財団									2						2
（公財）安田奨学財団									1						1
（独）日本学生支援機構 海外留学支援制度（協定受入）奨学金 ※短期留学生対象			2		2	1	3	3	24	2		13	1	1	52
（公財）SGH 財団								1							1
合計		1	3	2	2	1	3	12	53	2	1	13	1	1	95

編集・発行
福井県留学生交流推進協議会事務局

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号
TEL 0776-27-8406 FAX 0776-27-9715
(福井大学学務部国際課内)
発行:平成30年12月